

平成27年度

学校法人 常楽寺学園
事業報告書

平成27年度も昨年引き続き園運営を継続することができた。新たに熱心な保護者と元気いっぱいの園児を迎え、おかげさまで幼稚園教諭も充実した教育・保育を実施した。今後も一層気持ちを引き締めて業務に当たりたい。

進級園児に、情緒面で不安定な園児が複数名おり、保護者とも注意を深く話しをしながら、支援の必要な園児については、次年度以降適当な体制がとれるよう整える必要がある。

食育については、栄養士が配置されたが、自園給食ではないためか食育活動が思うように進まなかった。今後は栄養士とともに食育活動をさらに活発化させていきたいが、他の栄養士を採用するなど多くの意見を取り入れたい。

今年度も職員一丸となって、安心安全でより良い環境、保育活動を目指したい。

保育士及び職員

志気は高く、職員同士の協力する姿が顕著である。中堅の幼稚園教諭が新たなリーダーとなったためか、職員一人ひとりが団結する姿が見られた。認定こども園の課題とされる事務や認定業務等にも理解を深める姿がみられるなど努力する姿が見られた。評価をしたいと思う。

毎年のように課題となっていた幼稚園教諭だが、人材確保が難しい状況である。人材紹介業者等を活用しているが、今後は法人のHPを活用するなど、質の高い幼稚園教諭が確保する努力が必要である。

財政面

認定こども園に移行することで、補助単価が上がることやかつての事業にも補助金が交付され、黒字で終わることができた。

今後は、産休や育休等の就労環境が改善されるとともに勤務年数が増えており、就業規則や賃金規程を見直し、長期的な計画を立てる必要がある。

入園児の状況及び待機児

今年度は4歳児の入園希望や、他園からの転園が多かった。ただ、3歳児の募集が思うように伸びなかったため、新たな視点での園児募集を行う必要がある。

幼稚園が小規模のため、定員以上の応募はあり大変ありがたいことではあるが、入園がかなう事は考えられず、申し訳ない気持ちとなる。定員等の変更も視野に入れ検討する必要がある。

充実の1年と言って過言ではない年を送ることができた。努力した幼稚園教諭や職員、ご協力頂いた保護者の方々、近隣の皆様にも感謝したい。

I 法人本部

1. 所在地

大阪府豊中市服部寿町2丁目9番12号

2. 法人事業の経営理念

学校法人 常楽寺学園は、学校教育法及び教育基本法、幼稚園教育要領、に基づき、教育及び保育を提供するために穂積幼稚園を設置運営する。

本学園は、保護者の多様な意向を尊重して総合的に提供されるよう相違工夫することにより、次代

を担う子どもが、個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成されるよう支援、助長するため、曹洞禅の精神に基づき、子どもの教育と養育を行う。

3. 経営方針

(1) 経営基盤の強化

社会福祉事業や公益的な事業への自主的な取組について、責任を持って実施できる管理経営体制を構築する。

(2) 事業経営の透明性の確保

法人内で実施されているサービス内容や経営内容などの情報についての透明性の確保に努める。

4. 実施事業

(1) この法人はその目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

- ・ 認定こども園 穂積幼稚園（定員 95 名）

所在地 大阪府豊中市服部寿町2丁目9番12号

5. 理事会の開催

(1) 第1回 評議会・理事会（5月）

- ① 前年度事業報告及び決算報告の審議、その他

(2) 第2回 評議会・理事会（10月）

- ① 補正予算審議、その他

(3) 第3回 評議会・理事会（3月）

- ① 次年度事業計画及び当初予算の審議、園則変更、役員改選、その他

(4) 臨時 評議会・理事会（随時）

- ① 審議の必要に応じ随時開催

6. 構成

(1) 理事 6名（理事長含む）

(2) 監事 2名

(3) 評議員13名（理事含む）

7. 中・長期計画

(1) 地域の子育て支援ニーズに対応した事業実施

- ① 新規地域子育て支援事業の実施

(2) 適正な経営及び財務と透明性の確保

(3) 保育の質の向上と透明性の確保

- ① 学校関係者評価・自主評価の実施

(4) 組織の活性化

- ① 人事考課導入

- ② 職務や個々に応じた研修計画の策定

Ⅱ 認定こども園 穂積幼稚園

1. 保育目標

生活・あそび・行事を通して

意欲や興味を育てる

豊かな創造性・感性を育てる

良心を大切に守り、育む

よく考える力・学びへの意欲を育てる

2. 保育理念

子どもの そのままの姿を受けとめよう

いきいきと取り組んでいる姿や 熱中した状態を大切にしよう

たくさん抱きしめよう

たくさんの失敗ができる場所にしよう

「ほんものがもつ力」を大切にしよう

みんなで 子どもの成長や発達を喜び合い 協力し合いながら成長しよう

3. 平成26 年度の重点項目

(1) 幼稚園型認定こども園への移行

(2) 特別保育事業の積極実施、内容の充実

(3) 苦情解決処理への積極的な取り組み

(4) 地域交流事業の推進

4. 特別保育事業

(1) 預かり保育事業

5. 地域交流事業

(1) 世代間交流事業

① 地域の高齢者や小学生との交流（年1回）

(2) 地域子育て支援事業（自主事業）

① 貸し出し絵本（月1回）

② 臨床心理士による育児相談（月1回）

③ 幼稚園教諭による育児・教育相談（随時）

(3) ボランティア、就業体験受け入れ事業

① 保育士養成機関実習生受け入れ

② 中学生職場体験受け入れ

6. 職員構成

職種 正規職員 契約職員 派遣職員

園長 1名

教頭 1名（育休中）

保育教諭 9名

事務員 2名
看護師 1名
学校医(内科) 1名
学校医(歯科) 1名
学校医(眼科) 1名
絵画講師 1名
運動講師 1名
英語講師 1名

7. クラス編成 (平成28年3月23日現在)

クラス名	年齢	児童数	保育教諭数	備考
つくし	3歳児	25名	2名	
どんぐり	4歳児	15名	1名	
まつぼっくり	4歳児	15名	1名	
いちよう	5歳児	15名	1名	
もみじ	5歳児	16名	1名	
計		86名		

8. 健康管理

- (1) 内科検診
年2回
- (2) 歯科検診
年1回
- (3) 身体測定
毎月

9. 衛生管理

- (1) 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの見直しを定期的に行う。

10. 安全管理

- (1) 不審者・防犯指導
年1回
- (2) 交通安全指導
年1回

- (3) 避難訓練

非常災害対策訓練年間計画表に沿って実施 (年12回)

11. 食に対する取組

- (1) アレルギー対応の実施
- (2) 年間食育計画に基づいた取組の実施
- (4) 給食衛生管理マニュアルに基づいた対応

12. 苦情処理

- (1) 苦情への適切な対応により、利用者の満足感を高めると共に、利用者が適切に利用する事が出来るように支援する事と、苦情を密室化せず社会性や客観性を確保し、一定のルールに沿った方法で解決を進めることにより、円滑・円満な解決の促進や当園の信頼と適正性を図る為に苦情解決規程を設けて、お知らせ、ポスター、ホームページなどで周知する

15. 情報公開

(1) ホームページの開設

実施されているサービス内容や経営内容などの情報について、透明性の確保に努める。

16. 行事予定

4月 入園式

5月 子どもの日の集い・歯科検診・一日参観

6月 田植え・内科検診・流しそうめん・個人懇談・ぎょう虫検査・尿検査・プール開き

7月 川あそび・七夕まつり・お泊り保育

8月

9月 稲刈り・祖父母ふれあいあそび・だんらんまつり・遠足（年中・年少）

10月 市民運動会・運動会・いもほり・探検遠足（年長）

11月 創造展・個人懇談・たそがれコンサート・一日参観

12月 おもちつき・クリスマス会

1月 ほんものコンサート・家庭教育講座

2月 節分・発表会・一日参観

3月 ひな祭り・学校関係者評価委員会・卒園式

毎月（絵画教室・英語教室・発育測定・お誕生日会）

17. 研修計画

幼稚園教諭等には、自分自身の資質の向上を意識し、業務に必要な基本知識や技能を高め、専門性を高める意識を持ち、研修で学んだことを日々の保育活動に生かしていく必要がある。幼稚園教諭等に求められる人間性と専門性について、俯瞰的に計画する。

18. 職員会議

- (1) 定例会議（毎月）

19. 福利厚生

- (1) 職員健康診断（年1回）
- (2) 細菌検査（毎月）
- (3) 学校退職金財団